

2014年 審査員・メンター一覧

審査員

- 各務 茂夫

東京大学 産学連携本部 イノベーション推進部長 教授

一橋大学商学部卒、スイス IMEDE (現 IMD) 経営学修士 (MBA)、米国ケースウェスタンリザーブ大学経営学博士。ポストンコンサルティンググループを経て、コーポレートディレクション (CDI) の設立に参画、取締役主幹、米国 CDI 上級副社長兼事務所長を歴任。学位取得後、ハイドリック&ストラグル社にパートナーとして入社。2002年東京大学大学院薬学系研究科教員となり、2004年東京大学産学連携本部 教授・事業化推進部長に就任。2013年4月から現職。大学発ベンチャー支援、学生起業家教育に取り組む。



- 東 博暢

株式会社日本総合研究所 戦略コンサルティング部融合戦略クラスター長

大阪府立大学大学院工学研究科 (電気・情報系) 修士課程修了。ソーシャルベンチャー支援やソーシャルメディアの立ち上げを経て、2006年日本総合研究所入社。民間セクターに対しては、PMI、新規事業開発戦略策定、イノベーション戦略策定支援等を、公共セクターに対しては、主に情報通信分野における社会実証実験を通じた法制度改正、ガイドライン策定支援等を実施している。官民協働 (PPP) 事業においては、スマートシティ戦略などの都市開発支援を実施している。現在は、ICTを軸にしたあらゆる産業との融合領域におけるインキュベーション/コンサルティング活動を実施している。その他、デジタル教科書教材協議会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会の理事、台湾経済部のシンクタンクの専案諮詢および総務省等の政府機関、民間団体の研究会の委員等も歴任している。



- 伊藤 毅

Beyond Next Ventures 株式会社 代表取締役

2003 年東京工業大学大学院 理工学研究科化学工学専攻修了。2003 年株式会社ジャフコ入社 第二投資本部に配属。2008 年同社第三投資運用本部産学連携投資運用部に配属 2011 年同社産学連携投資グループリーダーに就任。

2014 年株式会社ジャフコ退社。前職に社外取締役として支援した投資先は、スパイバー株式会社、CYBERDYNE 株式会社、クオンタムバイオシステムズ株式会社、株式会社サイフューズ、マイクロ波化学株式会社がある。社外取締役として支援した CYBERDYNE 株式会社が 2014 年 3 月に東証マザーズに上場。技術系ベンチャーがこれからの日本を創っていくと信じています。創業者と共に、世界に貢献できる技術系ベンチャーを数多く支援していきたいと思っています。



- 佐藤 正義

株式会社三井住友銀行 法人戦略部成長事業グループ長

銀行支店業務を経験後、1999 年よりエヌ・アイ・エフベンチャーズ株式会社に出向し、ベンチャー投資調査業務に従事。その後、三井住友銀行にて、ベンチャー・成長企業向け融資業務を中心に多数のベンチャーファイナンス案件に携わった後、大和証券SMBC株式会社において、IPOを主とする引受審査業務を経験。2009 年より三井住友銀行に復職し、現在、法人戦略部成長事業グループにて、IPOを志向するベンチャー・成長企業向け投融資、IPO支援等、各種の成長支援業務に取り組んでいる。早稲田大学大学院ファイナンス研究科修了(MBA)。



- 隅田 剣生

株式会社産学連携研究所 代表取締役

プラント機器メーカーでプロジェクト営業、その後、NEDO、大阪大学、文部科学省等の産学官連携コーディネーターを担当し、現職。大阪府立大学総合科学部卒、神戸大学大学院海事科学研究科修了。



- 曾我 弘

株式会社カピオン 代表取締役

新日鉄退職後、1991年-2010年までシリコンバレーに移住。画像圧縮技術開発のベンチャー企業 Eidesign Technologies, Inc. を設立、経営。1996年に Spruce Technologies, Inc. を設立。DVD オーサリングシステムを開発・商品化し、今日のDVD普及の一翼を担う。最終的に同社を Apple へ売却。2010年に帰国後、KAPION パートナーを設立しスタートアップ企業支援と日米間のオープンイノベーションを目指し活動中。現在東北大学と共同事業化に参画後 2010年 Blue Jay Energy をシリコンバレーに設立、エネルギー関連ビジネスを推進中。また日本人起業家や大学生を中心にメンターや講演活動を推進中。



- 辻 秀樹

株式会社東京大学エッジキャピタル取締役・ジェネラルパートナー

UTEKにてクリーンテック、ソフトウェア、デジタルメディア、インターネットサービス関連の投資を担当。FCO Power(株)、プロメテック・ソフトウェア(株)、ライフネット生命保険(株)(2012年3月東証マザーズ上場)等を担当。UTEK参画以前は、テクノロジー・スタートアップ企業ヴィジョンアーツ(株)のCOO(最高執行責任者)として、戦略立案・事業開発を統括し、日本を代表するグローバルハイテクメディア企業へのM&Aを実現。それ以前は、通商産業省(現 経済産業省)に勤務し、京都議定書交渉等の環境・エネルギー政策、ベンチャー振興政策等を担当。東京大学法学部卒業、米国ペンシルベニア大学ロースクール修士課程修了、英国ロンドンビジネススクール修士課程修了。



- 前田 信敏

ウエルインベストメント株式会社 投資部長

早稲田大学政治経済学部経済学科卒業、早稲田大学大学院商学研究科ビジネス専攻修了(MBA)。大和企業投資(株)勤務等を経て、2008年よりウエルインベストメント(株)投資部長。2009年より早稲田大学アントレプレヌール研究会理事。2012年より文部科学省・大学発新産業創出拠点プロジェクト事業プロモーター。2013年より早稲田大学インキュベーションセンターシニアコンサルタント。大学発ベンチャー企業をはじめとする、高い技術力や斬新なビジネスモデルを持つアーリーステージのベンチャー企業に対する支援を長年手がけている。



- 松田 一敬

合同会社SARR 代表執行社員

慶応大学経済学部卒業後、山一証券(株)証券引受部を経て、同社ロンドン現地法人にて中東、アフリカ、東欧諸国等を担当する。その後、国内初の地域密着型ベンチャーキャピタルを設立。2000年6月に札幌 Biz Cafe を設立、サッポロバレーの IT ベンチャーを支援。地元 IT 企業の株式公開に繋げる。2000年9月、国立大学発ベンチャー第1号(北海道大学発)の設立に関与する等、大学発ベンチャー支援の国内の草分け。製薬企業向けマイルストーン契約の締結等、知財の事業化の実績を積む。2011年4月に合同会社 SARR を設立。起業家教育、ハイテクスタートアップの支援等を行っている。

INSEAD(欧州経営大学院、フランス)にて MBA 取得、小樽商科大学大学院商学研究科修士課程修了(修士(商学))、北海道大学大学院医学研究科博士課程修了(医学博士)。



- 吉岡 恒

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

イノベーション推進部主幹

1992年4月、NEDO入構(地熱調査部)。

その後、気候変動対策関連の業務を中心に従事し、2013年9月より技術開発推進部(現:イノベーション推進部)において現職。



メンター

- 中嶋 泰雄

東北大学 特任准教授

東北大学特任准教授。2013年から東北大学にて東京大学・京都大学・大阪大学・東北大学の技術シーズに特化したテクノロジーベンチャー育成を目指す新たな官民ファンド(文部科学省大学出資事業)の企画を担当中。それ以前は、日立製作所のコーポレートベンチャーキャピタルにて、ベンチャーキャピタル子会社を設立し、パートナーとしてIT、材料デバイス分野等に投資。スタートアップから上場ベンチャーの投資先企業の事業開発等ハンズオン支援。日立グループで事業やシステム企画、PMI等。東京大学大学院工学系研究科テクノロジーマネジメントコース派遣。経済産業省のベンチャー関連の委員や、中小・ベンチャー企業支援や技術移転の団体などのアドバイザー等として、オープンイノベーション、エコシステム構築、起業家教育等を推進。法政大学経卒。



- 瀬川 秀樹

クリエイブル 代表

(株)リコーに32年半勤め、光ディスクの精密加工技術者、光ディスクの国際標準化委員会(ISO)の日本代表団メンバー、技術企画、シリコンバレーにおけるCVC(Corporate Venture Capital)と新規事業の立ち上げ／撤退、新規事業開発センター副所長、未来技術総合研究センター所長などを歴任。常に新しいコトや多

くの新規事業の立ち上げに挑戦し続けてきた。

近年では、これからの世界にとって非常に重要である BOP(Base of the Pyramid(世界の貧困層))の project を立ち上げ、インドの農村部での活動も行ってきた。

2014 年 9 月に(株)リコーを退職し、10 月から「新規事業のコンサルティング」「若手育成」などを行う Creable(クリエイブル)を開設。



- 横倉 隆

東京理科大学 常務理事

’71 年東京理科大学理学部物理学科卒。東京光学機械(株)(現(株)トプコン)入社。光学技術者として民生、産業、医療、測量向けの様々な光学機器の研究開発を行った。その後は開発マネージャーとしてドイツや米国の大学との共同研究を担当。執行役員就任後、技術本部長、産業機器と医療機器の事業部長を歴任し’07 年より取締役社長。国内外での M&A や産学連携を手掛けた。’11 年に相談役。現在は特別アドバイザー。同年より東京理科大学常任理事。その他として東商議員としてもものづくり推進委員会共同委員長、経営者メンタークラブのメンター。



- 竹居 邦彦

ダブル・スコープ株式会社 取締役

1986 年中央大学経済学部卒業、青山学院大学国際ビジネス専攻・ファイナンス課程終了、横浜銀行に入行、支店勤務を経て証券業務に携わる。2001 年より独

立系ベンチャーキャピタルでインベストメントマネージャーとしてハンズオン型投資業務に従事。投資分野は素材、バイオ、半導体関連などグローバル展開を目指すテクノロジー系ベンチャー企業など。

ダブル・スコープ株式会社 (WS) は 2005 年リチウムイオンバッテリー用セパレーターの開発・製造を目的に設立。WS は投資先の 1 社、事業構想段階から計画に参画、会社設立と同時に取締役就任。WS は 2011 年 12 月東証マザーズ上場、2012 年 3 月より取締役・CFO に就任、現在に至る。テクノロジー系ベンチャーの成長に貢献できれば幸いです。



- 鶴下 直也

JN Biosciences LLC Managing Partner

1984 年 7 月 京都大学大学院理学研究科終了、理学博士号を授与される

1984 年 8 月～1987 年 11 月 スタンフォード大学およびカリフォルニア大学にて
博士研究員 抗体遺伝子の転写調節および組換え機構の研究

1987 年 12 月～1991 年 8 月 京都大学ウイルス研究所助手 抗体遺伝子の発
現調節機構の研究

1991 年 9 月～2005 年 3 月 蛋白工学部門ディレクター Protein Design Labs,
Inc. (現、PDL BioPharma, Inc.) 抗体医薬の研究開発

2005 年 4 月～現在 バイオテック・コンサルタント 日米両国の製薬企業にてタンパ
ク質医薬研究開発への助言

2005 年 11 月～現在 Cofounder & Managing Partner JN Biosciences LLC
(Mountain View, CA, U.S.A.) 新規抗体工学技術と抗体医薬の研究開発
テクノロジー系ベンチャーの成長に貢献できれば幸いです。



- 坂田 恒昭

塩野義製薬株式会社 シニアフェロー

(学歴)1979年大阪大学大学院・理学研究科・生理学専攻修了・医学博士、1990年～1991年 米国 UCLA ・外科学・泌尿器学教室・客員研究員

(職歴)1979年塩野義製薬株式会社研究所入社・現在同社シニアフェロー

神戸大学大学院理学研究科生物学専攻・分子薬理学講座・客員教授、大阪大学サイバーメディアセンター・招聘教授、武庫川女子大学薬学部・非常勤講師、大阪大学大学院基礎工学研究科・特任教授、徳島大学産学官連携推進部・客員教授(支援実績)Anges-MGのファウンダーとして同社の上場へ貢献、バイオサイトキャピタル社・サイエンティフィックアドバイザーとしてバイオベンチャー育成また大阪大学産学連携本部 Gap-Fund 委員、NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議副理事長として大学発ベンチャーの育成に寄与している。



- 坂本 大

ブレインアンドキャピタル USA シニアパートナー

27年の駐米経験を通して、環太平洋地域における事業戦略構築、ベンチャー投資、ビジネスインキュベーション、クロスボーダーM&A・事業提携などに取り組む。NECのグループヴァイスプレジデントとして、ITサービス分野のコーポレートベンチャーファンド設立などの業務に従事。Niteo パートナース役員、オープングループ役員、エンタープライズネットワーク、ヴィディエントシステムの役員、そしてサステイナブルシリコンバレー(NPO)の会長を歴任。

現在エコプレクススジャパンの取締役会長、ブレインアンドキャピタル USA のシニアパートナー、そしてサンタクララ大学院ボードアドバイザー (Master of Science – Global Innovation) を務めながらシリコンバレーにてベンチャー投資やスタートアップの事業支援に従事。



- 内田 毅彦

株式会社日本医療機器開発機構 代表取締役社長

内科・循環器科専門医。日本人初の米国食品医薬局医療機器審査官を務める。外資系医療機器メーカーでの経験も有し、医療機器開発のスペシャリスト。臨床ニーズを常に考えた製品開発を行い、臨床試験のデザインからマーケティングまで幅広いグローバル製品の事業化を行う。

また、ビジネススクールで経営も学んでいる。さらに、厚生労働省科学研究費補助金事業の治験推進研究事業の実務責任者を務め、公的事業も経験。

ハーバード公衆衛生大学院・ハーバード経営大学院卒業。



- 石倉 大樹

株式会社日本医療機器開発機構 経営企画室長

医療分野での起業・新規事業開発に特化。自ら創業メンバーとして参画した創薬ベンチャー・アキュメンバイオフーマは、日本で初めて大学発の技術を事業化した会社として上市(欧州)に成功。その後は医療 IT ベンチャー・エムスリーにて、製薬企業及び医療機器メーカーの治験を加速化させる IT サービスの新規事業開

発をリード。スタンフォード大学経営学修士課程(MBA)留学中には、Medicine X の Innovation Sourcing Team として、mHealth 及び Health Tech の startup を投資検討し、Biodesign プログラムも経験。現 P5,Inc.取締役。



- 出口 彰浩

アチーブ・グロース・コンサルティング 代表パートナー

1995 年 同志社大学法学部法律学科卒業

1997 年 同志社大学大学院総合政策科学研究課 修了

2004 年 ロンドンビジネススクール MBA コース 修了

1997 年 (株)三和総合研究所(現(株)三菱 UFJ リサーチアンドコンサルティング) 入社。マーケティング、新規事業開発、人事戦略等多岐にわたるプロジェクトにおいて中心メンバーとして参画。

2004 年 (株)ローランドベルガーストラテジーコンサルタンツ入社。一部上場企業に対し新規事業開発コンサルティングを提供

2005 年 (株)グロービス・キャピタル・パートナーズ入社 IT、サービス分野を中心に投資実行。社外役員として複数のベンチャーの経営に参画し戦略立案・実行において中心的役割を果たしている。

2011 年、アチーブ・グロース・コンサルティングを設立。VCと、中小・ベンチャー企業への成長支援コンサルティングを実施している。



- 小森 啓安

Technology-Coach 代表

2001年3月に北海道大学大学院工学研究科修士課程を卒業後、セイコーインスツルメンツ株式会社半導体事業部において、同社初となる車載用EEPROMのメモリデバイス部の開発に携わる。デバイス設計や品質保証の規格策定などに従事。その後、2004年の国立大学法人化を機に産学連携の実務を歴任(北海道大学知的財産本部⇒農工大ティー・エル・オー(NEDOフェローとして出向)⇒東京大学TLO)し、数十件のライセンス契約実績を有する。

2012年9月より産学連携・知的財産活用支援事業を行うTechnology-Coachを設立。文部科学省・START事業支援や、NEDOカタライザー業務等を通して、スタートアップ支援活動に従事。

2014年6月より、慶應藤沢イノベーションビレッジ(SFC-IV)の インキュベーションマネージャーも併任。



- 大木 美代子

Serend プリンシパル

日本 IBM でグローバルマーケティングに従事後、私費留学で渡米。ビジネス修士号取得後、シリコンバレーの大小様々な IT 企業で、グローバルビジネス開発に携わる。2013年1月に独立、コンサルティング会社 Serend (<http://www.serendinc.com>)をスタート。アメリカ、アジアのスタートアップ、中小企業、大企業、アカデミア、政府機関などに対して、機会創出支援、戦略設定、ハンズオンのマーケティング業務のサポートなどを行っている。



- 坂本 教晃

株式会社東京大学エッジキャピタル プリンシパル

2014年にUTECH参画。FinTech(金融)、ライフサイエンス、IT分野を中心とする、シード/アーリーステージのスタートアップへの投資業務を担当。

2003年から経済産業省に5年間勤務し、中小企業金融円滑化関連法案や家電リサイクル法の法案作成業務に従事。また、ITベンチャー担当課長補佐として、未踏及び未踏ユースプロジェクト、GISビジネスグリッドコンピューティング事業等の責任者を務めると共に、ベンチャー企業の適正な育成及び支援のあり方について検討を行う Vivid Software Vision 研究会を設立。経済産業省を退官後、コロンビア大学を経て、2010年から2014年までマッキンゼー・アンド・カンパニーに在籍。プロジェクトマネージャーとして、製薬、医療機器、自動車、ハイテク、消費財、リテール等の業界各社に対し、営業・マーケティング、R&D、サプライチェーンマネジメント、新規事業戦略構築、M&A戦略に関するプロジェクトに従事。

2003年東京大学経済学部部卒。2010年コロンビア大学経営学修士(MBA)。

マッキンゼー・アンド・カンパニー「企業価値評価」共訳。



- 宇佐美 篤

株式会社東京大学エッジキャピタル プリンシパル

2013年10月にUTECH参画。バイオテック、再生医療、および医療機器分野を中心に、ライフサイエンス関連の技術デューデリジェンス及び、シード/アーリーステージのベンチャー企業への投資業務を担当。

UTECH参画以前は、東京大学大学院にて薬学および神経科学の基礎研究の従事により、薬学博士を取得した後、株式会社三菱総合研究所 戦略コンサルティング本部 産業戦略グループにて研究員として勤務。医薬、医療機器、再生医療などのヘルスケア産業におけるコンサルティング業務を担当。医薬、医療機器メーカーの新規事業戦略立案、中期経営計画策定支援、ならびに他分野製造業メーカーによるヘルスケア産業への新規事業参入支援等の業務を遂行。官公庁に対する国際標準戦略支援、産学連携支援等の業務にも携わる。

2007年東京大学薬学部卒、2012年東京大学大学院薬学系研究科生命薬学専

攻修了。博士(薬学)、薬剤師。2007年第21回独創性を拓く「先端技術大賞」フジテレビジョン賞、2010年次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム優秀発表賞、2011年第11回東京大学生命科学シンポジウム優秀賞などを受賞。



- 潮 尚之

ITPC (International Technology Partnership Center) プリンシパル

松下電器産業(現パナソニック)において ITS(高度道路交通システム)をはじめとした様々なビジネス・技術分野でのグローバルな事業開発やアライアンスを推進。

2002年から2005年まで米国においてベンチャー企業や大学との技術連携推進の責任者を担当。

2006年に、ビジネス・コンサルタントとして独立してITPCを設立するとともに、シリコン・バレーの画像認識技術ベンチャー(piXlogic社)の一員に。

現在、シリコン・バレー及び東京を拠点として、欧米の有望なベンチャー企業の発掘と日本進出のサポート、グローバルとオープン・イノベーションの志向の強い日本企業の海外動向調査や米国進出のサポートなど、インターナショナル・ビジネス・デベロップメントの専門家として活動中。また、大阪府立大学EGDEプログラムのシリコン・バレー代表及び東京大学TLOのアドバイザーも担当。

画像処理、音声認識、ワイヤレス、センサー、可視光通信、クリーンテック等の幅広い分野をカバー。慶応義塾大学文学部人間科学専攻卒。



(順不同)